

令和2年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

都市環境整備課

1 施設の概要等

施設名	広島県立びんご運動公園		
所在地	尾道市栗原町997		
設置目的	備後地域住民のスポーツと多様なレクリエーション活動の振興		
施設・設備	健康スポーツセンター，陸上競技場，テニスコート，野球場，球技場，コミュニティープール，冒険の森，多目的広場，オートキャンプ場など		
指定管理者	4期目	H28.4.1～R3.3.31	イズミテクノ・RCC文化センター・シンコースポーツ共同企業体
	3期目	H23.4.1～H28.3.31	ポラーノグループびんご
	2期目	H20.4.1～H23.3.31	ポラーノグループびんご
	1期目	H17.4.1～H20.3.31	尾道市

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R2	738,718人	526,307人	△51,062人
R1		712,301人	577,369人	△152,768人	△134,932人(81.1%)
H30		710,222人	730,137人	19,544人	19,915人(102.8%)
H29		696,470人	710,593人	27,368人	14,123人(102.0%)
H28		683,039人	683,225人	11,280人	186人(100.0%)
	3期平均H23～H27	667,914人	671,945人	19,073人	4,031人(100.6%)
	2期平均H20～H22	656,450人	652,872人	22,544人	△3,578人(99.5%)
	1期平均H17～H19	610,560人	630,328人	43,388人	19,768人(103.2%)
	H16(導入前)	—	586,940人	—	—
増減理由	○新型コロナウイルス感染症の流行による施設利用中止及び利用者の自粛などによる減				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	アンケートの実施	公園利用者 300人
	利用者意見箱の設置	公園利用者(個人)250人 スポーツ団体 15団体
	受付・打合せで聞き取り	スポーツ団体 25団体
	【主な意見】	【その対応状況】
	プールのロッカーを新しくしてほしい	男女の更衣室の一部を新しいものに取り換え
トイレにウォシュレットを設置してほしい	野球場及び多目的広場のトイレをウォシュレット化	
アリーナにテニス用ラインを引いてほしい	今後、対応を検討する	

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務報告書
	日報(必要随時)	○ 事故等報告書
管理運営会議(随時)	【特記事項等】 ・各施設(建物)，設備の老朽化対策が課題 【指定管理者の意見】 ・利用者増と安全な施設運営の取組を実施する ・設備保守を強化する	
現地調査(7月，11月に実施)	【県の対応】 ・維持修繕にあたっては，事前に県と十分協議し，連携しながら実施するよう指定管理者に指導した	

5 県委託料の状況

(単位：千円)

	年度		金額	対前年度増減		年度		金額	対前年度増減
	県委託料 (決算額)	4期	R2	176,389		21,807	料金 収入 (決算額)	4期	R2
R1			154,582	958	R1	68,661			△5,486
H30			153,624	460	H30	74,147			△2,511
H29			153,164	△2,836	H29	76,658			3,579
H28			156,000	7,714	H28	73,079			6,018
3期平均H23～H27		148,286	△214	3期平均H23～H27	67,061	1,920			
2期平均H20～H22		148,500	△18,751	2期平均H20～H22	65,141	4,993			
1期平均H17～H19		167,251	△6,508	1期平均H17～H19	60,148	△1,605			
H16 (導入前)		173,759	—	H16 (導入前)	61,753	—			

6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R2決算額	R1決算額	前年度差	主な増減理由等
収入	県委託料	176,389	154,582	21,807	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う県からの利用制限による料金収入減収分に対する委託料の増
	料金収入(※1)	53,886	68,661	△14,775	コロナによる施設の利用休止及び利用控えの影響
	その他収入	8,244	8,591	△347	コロナによる飲食事業の収入減
	計(A)	238,519	231,834	6,685	
支出	人件費	77,921	77,213	708	給与額の変動による
	光熱水費	49,538	47,855	1,683	令和元年度はプールの修繕工事で燃料代が抑えられていたため
	設備等保守点検費	17,717	18,282	△565	令和元年度に空調設備点検を実施済のため(3年に一度実施)
	清掃・警備費等	71,156	68,369	2,787	令和元年度は遊具の改修により警備費用が抑えられていたため
	施設維持修繕費	1,954	3,549	△1,595	修繕箇所の減少
	事務局費	11,910	10,428	1,482	コロナ対策に係る消耗品の購入
	その他	13,399	12,434	965	コロナ対策経費の増
	計(B)	243,595	238,130	5,465	
収支①(A-B)		△5,076	△6,296	1,220	
自主事業 (※2)	収入(C)	19,226	21,838	△2,612	コロナによる施設の利用休止及びイベントの中止
	支出(D)	18,752	19,639	△887	
	収支②(C-D)	474	2,199	△1,725	
合計収支(①+②)		△4,602	△4,097	△505	

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の 効用 発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	トップス広島による能力向上教室をはじめ、パルクール講座やスポーツ教室を実施した。また、「はなのわ※」の開催を契機に、新たな試みとしてマルシェなど参加型のイベントを企画・実施した。	子どもの心身の発達等を目的とした自主事業を企画・実施し、スポーツの振興を図った。また、「はなのわ」と連携した自主事業の実施等により、利用促進やレクリエーションの振興を図った。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	新型コロナ感染症対策として、施設の消毒や換気等の徹底、パーテーションや体温計の設置等を行った。	県の対処方針等に沿った新型コロナ感染症対策を実施することで、利用者への感染拡大の防止を図った。
	○業務の実施による、施設の利用促進	自主事業によりスキー・スノーボードのジャンプ練習施設を新たに設置し、運営を開始した。	話題性の高いジャンプ台の設置により、これまで利用の少なかったジャイアントスロープの有効活用を図った。
	○施設の維持管理	ロッカーの一部更新やジョギングコース補修を行うなど、安全対策や利便性向上のための維持管理を行った。	日々の定期点検を確実にを行うことにより危険を早期発見し、必要な修繕を行うなど施設維持管理を適切に行った。
管理の 人的 物的 基礎	○組織体制の見直し	異動、退職等で人員の変更はあったが企業体にて調整して運営した。	人員変更はあったが、研修等により適切な管理水準を保った。
	○効率的な業務運営	共同企業体各社のノウハウや専門的技術を活用し業務の合理化に努めた。	広報、スポーツ、建物管理について、共同企業体の強みを活かして運営した。
	○収支の適正	新型コロナ感染症の拡大に伴い、利用料金収入の大幅減があったものの、経費節減により、最小限の収支損に留めた。	新型コロナ感染症による収入減はあったが、サービスレベルを維持しながら適切に経営を行った。
総括		年度当初から大幅に利用者数が減少したが、感染症対策を実施しながら運営を行い、夏以降の利用者数は回復した。	新型コロナ感染症対策を徹底しつつ、「はなのわ」の協賛会場としての取組実施や新たな利用者確保に努めるなど、適切に管理運営を行った。

※「はなのわ」：第37回全国都市緑化ひろしまフェア

8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナ感染症拡大防止をはじめとした、利用者の安全確保を最優先とした施設の維持管理を実施する。 ○新たなイベントや講座等の企画・開催や施設の有効活用、広報の充実により、利用促進を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○施設全体の老朽化による不具合について利用者の安全確保を最優先に、指定管理者と連携しながら対応する。 ○新型コロナ感染症の拡大防止対策を適切に講じる。
中期的な対応	効率的な維持管理に努めるとともに、計画的な修繕の提案等を継続して行う。	長寿命化計画や長期修繕計画に基づき適切に施設の修繕等を実施する。